

APIPA Design Studio株式会社

気づかなかった魅力を発掘し 心を掴む差別化コンテンツを制作

[情報通信業]

デザインプロダクション

■企業プロフィール

〒791-1113
松山市森松町280-2
Mホーナー森松205
TEL / 090-9834-8373
設立 / 平成29年5月
資本金 / 1円
事業内容 / WEB、DRONE、VRなどの技術を駆使した、ワンストップでのブランディング
http://apipa.jp/
info@apipa.jp

■社長プロフィール

石塚 政紀
1979年東京都新宿区生まれ。都内でのアーティスト活動を経て、IT企業に就職。同時にフリーランスとしても活動。2010年愛媛県に1ターン。2012年松山にてフリーランス活動を再開。2017年5月に法人化。趣味は理論物理学の世界に思いを馳せること。

代表取締役 / Creative Director
Masanori Ishizuka
石塚 政紀

独自の切り口で顧客のPRを一手に担う



地域資源に遊び心をプラスして 愛媛を全国、世界へ情報発信

移住先である愛媛県で、自分にできる事はなにか。WEB制作のフリーランスではできない事に限界があると思っていた矢先、えひめ産業振興財団が実施する地域密着型ビジネス創出助成事業（えひめ中小企業応援ファンド）の支援が決まり法人化。公的機関や県内外の中小から大手企業に対し、これまで培ってきた独自の感性を活用し、PR事業などで地域資源と最先端技術を融合させたコンテンツ制作を行う。

独自路線のコンサルティングで 魅力を「いいカンジ」に具現化

社名であるAPIPAのそれぞれの文字に、All artistry（芸術性）、Personality（人間性）、Innovation（新しい切り口）、Painstaking（労力を惜しまない）、Attitude（姿勢）の意味を込め、この姿勢を念頭にまい進する。1つの仕事をする上で絶対必要な「お客様のニーズ」。事前リサーチだけでなく、現地での十分なヒアリングを行い、ニーズの中に隠れている、お客様自身が気づいていない魅力を引き出す事を入れる。すべての案件に通じる会社のスローガンでもある「気づかなかった魅力を『いいカンジ』に具現化」するために絶対に必要な行程だ。「聞く」のではなく「聴く」、「聞き出す」のではなく「引き出す」姿勢を大切にしている。その姿勢は仕事の幅にも現れる。WEBサイト、ドローン空撮、パノラマ実写VR、動画制作、デザイン制作などデジタルサイネージ制作などを使った魅力を引き出すコンテンツ制作

スローガン

- 気づかなかった魅力を「いいカンジ」に具現化
- 論理的に構築し、トリッキーな遊び心で心を掴む差別化コンテンツを制作
- オリジナル製品・サービス
- WEBサイト、ドローン空撮、パノラマ実写VR、動画制作、デザイン制作、デジタルサイネージ制作などを使った魅力を引き出すコンテンツ制作

Painstaking（労力を惜しまない）、Attitude（姿勢）の意味を込め、この姿勢を念頭にまい進する。1つの仕事をする上で絶対必要な「お客様のニーズ」。事前リサーチだけでなく、現地での十分なヒアリングを行い、ニーズの中に隠れている、お客様自身が気づいていない魅力を引き出す事を入れる。すべての案件に通じる会社のスローガンでもある「気づかなかった魅力を『いいカンジ』に具現化」するために絶対に必要な行程だ。「聞く」のではなく「聴く」、「聞き出す」のではなく「引き出す」姿勢を大切にしている。その姿勢は仕事の幅にも現れる。WEBサイト、ドローン空撮、パノラマ実写VR、動画制作、デザイン制作など基本一人で担う。折角引き出した魅力を明確に具現化、可視化する上でもっとも効果的な方法だと考える。

時間と労力を惜しまない 妥協しないコンテンツを提供

少数精鋭で高いクオリティを出す仕事はモットー。コスト面では勝負にはならないが、コスト以上の満足を与えられるよう質を追求し、誰もやっていない表現方法を使って差別化を図る。ITの本場・アメリカでは、デザインスタジオとはWEB制作とブランディングを総合的にコンサルティングする会社の事を指す場合が多い。デザインスタジオを銘打つ会社として、常に斬新な切り口でありながらも、自己表現するアーティストではなくデザイナーとして企業と消費者を繋ぐコンテンツを提供し続ける。

